

平和への想い

広島平和ツアー体験記

【問合わせ】総務課 ☎84-0613

半田市は、全国に先駆けて非核平和の実現に関する議会決議を行いました。また、日本非核宣言自治体協議会並びに平和首長会議にも加盟し、非核平和の実現に向けて様々な取り組みを行っています。



その取り組みのひとつとして、次代を担う若者たちに平和の大切さを知ってもらうための「中学生平和研修」を実施しています。

今年は、乙川中学校と亀崎中学校の生徒8人が研修に参加し、広島市を訪問しましたので、その体験記を紹介します。

また、原爆パネル展にあわせて、市民の皆様には平和を祈念して作成いただいた約6千羽の折鶴につきましては、研修に参加した中学生が広島市へ届けました。

皆様ご協力ありがとうございました。

さかきばら か こ

榊原可子さん(乙川中学校2年)

最初に訪れた場所は「原爆ドーム」です。何も知らないままドームを見ると「なぜ崩れている所があるのに再建しないのだろうか」などと思いましたが、次に訪れた「広島平和記念資料館」に行くと、原爆ドームが爆心地から近かったり、強烈な熱線・熱風があったり、市内の90%以上が破壊されたが、それらに負けずに建っていたので、戦争後に平和を象徴する建物になったことを学びました。

夜には、戦争と原爆を体験した河野きよみさん^{こうの}から講話を聞きました。講話の中に河野さんが描いた絵や実際の物や地図を見て聞くことができました。河野さんの話は資料館では分からなかったヒロシマを知ることができました。戦争を体験したことのない私たちでも分かるとても辛く、苦しく、言葉も出ないほどの恐ろしい原爆とヒロシマでした。

今回の研修で、私は戦争をしてはいけないことや平和の大切さを周りの人や半田市・愛知県の人に私たちから伝えたいと思います。

かたおか そうけん

片岡壮健くん(亀崎中学校2年)

広島には、二度行ったことがありましたが、その時はまだ幼かったので、記憶に残っていたのは、原爆ドームに残された人の影を見て恐ろしいなと思った事だけでした。

中学生になり、社会で歴史を勉強するうちに近代史、主に第二次世界大戦の事について興味を持つようになった僕は、広島平和研修への参加を希望しました。今なら前とは違う見方で広島^の原爆ドームや戦争について感じる事ができると思ったからです。そして、広島^の平和研修に行き学んだ事、感じた事は、戦争ではとても残酷な兵器が使われ、多くの人々が命を落とすという事です。今回、被爆者の方の話を聞いて、原爆は一瞬にして何万人もの人の命を奪い、放射線により無傷の人も死んでしまうと聞いて、こんなことは二度とあってはならないと強く感じました。平和というのは、誰かに与えられるものではなく、自分達一人一人が守り、作っていく事が何よりも大切な事だと思います。